
田中貴金属記念財団が、最高金額 500 万円を授与する 「貴金属に関わる研究助成金」の研究テーマを 10 月 1 日より募集開始

国内の教育機関・公的研究機関に助成
貴金属が貢献できる新しい技術や研究・開発をテーマに募集、11 月 30 日締切

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗明）は、一般財団法人 田中貴金属記念財団（代表理事：岡本英彌）が 2015 年度「貴金属に関わる研究助成金」を 10 月 1 日（木）から 11 月 30 日（月）まで募集することを発表します。本助成金は、貴金属を使用した研究・開発を行う国内の教育機関や公的研究機関を対象に募集し、受賞者には最高金額 500 万円の「プラチナ賞」をはじめ、200 万円の「ゴールド賞」、50 万円の「シルバー賞」、100 万円の「萌芽賞」20 万円の「MMS 賞」をそれぞれ授与します。

第 17 回目となる本年度の「貴金属に関わる研究助成金」は、田中貴金属記念財団として初めてを募集します。また、従来の「プラチナ賞」、「ゴールド賞」、「シルバー賞」「MMS 賞」に加え、「萌芽賞」を今回より新設し、37 歳以下の若手研究者への支援も積極的に行っていく体制を整えました。本助成金は、貴金属が貢献できる新しい技術や、研究・開発に対して、あらゆる分野からテーマを募集します。応募は田中貴金属記念財団ホームページ（tanaka-foundation.or.jp）の応募フォームから受け付け、厳正な審査の上、2016 年 3 月末頃に受賞者を発表します。

田中貴金属記念財団では、貴金属の新分野を開拓醸成し学術、技術と社会経済の発展に寄与することを目的に、多くの人々に対して、学術、技術の発展による豊かな社会を感じていただける活動を展開しています。本制度は、この活動の一環として、「貴金属が拓く新しい世界」へのさまざまなチャレンジを支援します。皆様の研究に対する熱い想いをお待ちしております。

— 2015 年度「貴金属に関わる研究助成金」募集概要 —

【テ ー マ】 貴金属が貢献できる新しい技術や研究・開発

【助成金額】

- ・ プラチナ賞 500 万円（1 件）
- ・ ゴールド賞 200 万円（1 件）
- ・ シルバー賞 50 万円（数件）
- ・ 萌芽賞（37 歳以下） 100 万円（2 件）
- ・ MMS 賞 20 万円（複数件）

※該当の助成金は奨学寄付金として取り扱います。

※各賞は、商品化・実用化に向けて特に大きな貢献が認められると判断されるものを対象としており、「受賞該当なし」の場合もあります。

【募集対象】 日本国内の教育機関あるいは公的研究機関に所属されている方

- ・ 日本国内の研究機関に所属されていれば、活動拠点は国内・海外を問いません。

・萌芽賞は、2015年4月1日現在において37歳以下の若手研究者を対象としております。

【募集期間】 2015年10月1日（木）～11月30日（月）17：00

【応募方法】 田中貴金属記念財団ホームページ（tanaka-foundation.or.jp）上の応募エントリーフォームにて必要事項を入力の上、研究内容（テーマに関する論文や補足資料など）を送信してください。

【発表】 2016年3月末頃に田中貴金属記念財団ホームページ上にて発表します。

※受賞者へは直接ご連絡を差し上げます。

【応募条件】

- ・商品化・実用化において、貴金属が重要な役割を果たす研究内容であること。
- ・貴金属に関する開発が、その商品化・実用化の進捗にブレークスルーをもたらす内容であること。
- ・共同で研究されている内容を応募する際は、代表者をご応募ください。
- ・学生の方は、所属する研究室の責任者の了承を得てご応募ください。
- ・他の貴金属材料メーカーと実施しているもの（予定も含む）は、その旨を明記してください。
- ・研究を通じて製品開発、技術開発、指導など、情報交換をお願いする場合があります。
- ・すでに商品化・事業化が実施あるいは予定されているものは除きます。
- ・分析、評価、生産技術などの基礎研究は除きます。

【研究助成金制度に関するお問い合わせ】

「貴金属に関わる研究助成金」事務局

田中貴金属工業株式会社 マーケティング部 内

〒100-6422 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22階

TEL：03-6311-5596 FAX：03-6311-5529 E-mail：joseikin@ml.tanaka.co.jp

田中貴金属記念財団ホームページ：tanaka-foundation.or.jp

■田中貴金属記念財団

名 称：一般財団法人 田中貴金属記念財団

設 立 日：2015年4月1日（水）

所 在 地：東京都千代田区丸の内2丁目7-3 東京ビルディング 22階

代 表 理 事：岡本英彌（TANAKAホールディングス（株）相談役）

事 業 目 的：貴金属に関する研究への助成を行い、貴金属の新分野を開拓醸成し学術、技術ならびに社会経済の発展に寄与すること。

事 業 内 容：貴金属に関する学術的、技術的な研究に対する助成
貴金属に関する優れた研究に対する顕彰及び講演会等の開催

■TANAKAホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年 資本金：5億円

グループ連結従業員数：3,511名（2014年度）

グループ連結売上高：8,564億円（2014年度）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種産業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HPアドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核8社は以下の通りです。

- ・TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・田中貴金属販売株式会社
- ・日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社

<報道に関するお問い合わせ先>

「貴金属に関わる研究助成金」事務局：渡邊、柳沢

TEL:03-6311-5596 FAX: 03-6311-5529